

(特非) 子どもと文化全国フォーラム  
子ども・おやこ劇場活動交流委員会主催 明和政子氏講演会

# AI と共に生きる時代にこそ 大切となる 次世代の『感じる心』の育成

子どもたちの脳とこころの発達は  
これからどのように変容していくのか？

AI 共生時代にこそ必要となる

人類の知性とそれを育む教育とは？  
ヒトの脳やこころは、どのような環境で  
育まれていくのか？

今、立ち止まって考えていく  
ときではないでしょうか



講師  
**明和 政子氏**  
みょうわまさこ

京都大学大学院教育学研究科教授  
専門は発達神経科学・霊長類学  
ヒトとヒト以外の霊長類を胎児期から比較し、  
ヒト特有の脳とこころの発達の機序とその生物  
学的基盤を明らかにする「比較認知発達科学」  
という分野を世界にさきがけて開拓した

2026年

3/29日 13:00 開場  
13:30～16:00

\*講演 90分

\*質疑応答などの交流はリアル参加優先とさせていただきます

福岡市市民福祉プラザ **ふくふくホール**

参加費：1,200円

リアル・リモート・アーカイブ視聴 いずれも同額  
アーカイブ配信 (3/31～4/13 期間限定公開・講演部分のみ)  
※リアル・アーカイブ両方希望の場合は +1,000円

参加申し込み方法 右記のQRコードを読み込んで Google フォームでお申し込みください  
申し込み締め切り：3月19日(木)

連絡先：(特非) 子ども劇場福岡県センター  
Tel/Fax 092-985-5580 e-Mail fukkodomo@ind.bbiiq.jp

お申し込みは  
Google フォームより  
↓



## < 開催にあたって >

子ども・おやこ劇場活動交流委員会は、子どもと文化全国フォーラム発足時から“組織の発展は実践交流にある”と、今まで6回の全国的な交流会を持ち、つながることで元気になり思いを共有し、若い世代の力も感じながら歩んできました。今年は、初めての講演会となります。

私たちは、半世紀以上にわたり、文化芸術による環境づくりを、子どもが育つ地域に根ざして生み出してきました。しかし、コロナ以降、子どもの状況はますます厳しく、さらなる大きな環境変化の波が押し寄せています。

その状況に、危機感を強めている研究者も少なからずいます。明和政子さんは、AI 共生時代の今、子どもたちの脳と心の育成をどのようにしていけばいいのか、科学的に検証し未来を描くために 精力的に動き、様々な分野で発信しておられます。

子どもたちの豊かな未来を創造し合う共通の認識を持てる講演会にしたいと考えています。全国各地のすべての子ども・おやこ劇場、創造団体はもとより、各地の団体・個人など、広く参加を呼びかけます。

子ども・おやこ劇場活動交流委員会 代表 藤 英子

みょうわまさこ

## 明和 政子氏の活動の一部ご紹介

NHK スペシャル『ママたちが非常事態!? 最新科学で迫るニッポンの子育て1・2』(2016年放送)

『ニッポンの家族が非常事態!? 第1集わが子がキレル本当のワケ』(2017年放送)

『ジェンダーサイエンス 男×女性差の真実』

(2021年放送)等の監修・出演により、現代社会に生きるヒトが抱える問題を最新科学の知見から理解する活動にも力を注いでいる。

近著に『マスク社会が危ない—子どもの発達に「毎日マスク」はどう影響するか?』(宝島新書)、『ヒトの発達の謎を解く—胎児期から人類の未来まで』(ちくま新書)、『まねが育むヒトの心』(岩波ジュニア新書)など多数。

## 人間のこころを育む環境を考える

講演会に参加して 子ども・おやこ劇場活動交流委員 広中省子

明和政子先生は、チンパンジーとヒトの赤ちゃんの研究を通し「ヒトの本質」を科学者として、2児の母としての実感も交えて追究されてきました。

先生によると、私たちホモ・サピエンスは、優れていたから進化の頂点に立ったわけではないそうです。他の動物の赤ちゃんに比べ、超未熟で無力だったヒトの赤ちゃんは、何とかして生き延びるために20万年という長い時間をかけて、脳と心を環境に適応させて発達してきました。その適応と発達の道筋を科学的に見ていくことで「人間のこころ」を育むために必要な環境やはたらきかけを知ることができます。

明和先生は科学的でありながら赤ちゃんにはリスペクトにあふれたまなざしを向け、子どもたちが育っていく社会や環境を考えていくのは、私たち大人の責任だと述べておられます。明和先生のお話を、子どもが人間として育っていく道筋や社会のあり方に関心を持っているたくさんの方と共有し、子どもたちの未来を語り合いたいと思います。

お問い合わせ：子ども・おやこ劇場活動交流委員

- 藤 (鹿児島県子ども劇場協議会)
- 井上 (九州沖縄地方子ども劇場連絡会)
- 広中 (子ども・おやこ劇場東海連絡会)
- 安原 (特非/福山おやこ劇場)
- 太田 (子ども劇場企画・創造団体実行委員会)
- 後藤 (子ども劇場おやこ劇場東北)
- 川島 (特非/子ども劇場福岡県センター)

協力団体

(特非) 子どもと文化全国フォーラム 乳児専門委員会 / (一社) 日本ベビーシッターネットワーク / 九州沖縄地方子ども劇場連絡会